

臨地実習（看護管理学）

[実習] 後期～前期 必修 90時間 2単位

《担当者名》福井 純子 [sfukui@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

看護管理学特論、看護管理学演習、その他の既習の関連科目における諸知識に基づいて、実習施設における看護管理の実際を理解を深めるとともに、各自の看護管理実践および研究活動の課題について考察を深める。

【学修目標】

1. 実習計画書に沿った実習の実施から、既習の諸知識に基づき実習施設における看護管理の実際を理解できる。
2. 今後、各自の看護管理実践に活かすための視点と課題を明確にできる。
3. 実習で得た情報や知見をもとに研究活動への準備が整えられる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	実習方法	1) 実習目標を踏まえ、各自が具体的な実習課題を設定し、実習計画を立案する。 2) 実習計画書をもとに、実習施設における指導者と打合せを行ない、実習目標および倫理的配慮に関する確認を行なう。 3) 実習中の学びについて、適宜、実習施設における指導者および教員から指導を受ける。 4) 実習終了後は、教員とともに実習の振り返りを行ない、実習レポートを作成する。	福井
	実習期間	おおむね2週間の実習を行なう。ただし、集中もしくは分割実習のいずれを選択するかは、各自の実習課題および学習状況によって、教員と相談の上決定する。	
	実習施設	各自の実習課題に基づき、実習を希望する施設を選定し、教員と検討する。その上で、選定した施設の看護部の了解を得て、決定する。	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習課題の達成度（30%）、実習報告及びレポート（70%）を総合して評価する。

【教科書】

特に指定しない

【参考書】

必要時に提示する

【学修の準備】

実習施設の機能や概要、および地域の状況について、事前に可能な情報収集をする。また、各自の実習課題を踏まえ、既習の知識の整理をして実習に臨む。